

炎の中を駆け抜ける！

神崎河川敷祭を開催

4月29日、利根川河川敷を会場に「神崎河川敷祭」を開催し、大勢の見物客が訪れました。

会場には多数の出店が立並んだほか、サッパ舟やプレジャーボートの体験乗船が行われ、乗客は利根川クルーズを満喫。

また、神崎寺の伝統行事「火渡り修行」が行われ、河川敷には大迫力の巨大な火柱が立ち上がりました。山伏が燃え盛る炎の上を裸足で駆け抜けた後には、信徒や見物客も火渡りを行い、無病息災を祈念しました。



◀炎の上を駆け抜ける山伏

サッパ舟「みち丸」で利根川クルーズに出発



暖かな日差しの中、なのはな畑めぐり 駅からハイキング

4月28日～5月6日、J R東日本主催（神崎町協力）の駅からハイキングが開催されました。

下総神崎駅を出発した参加者は、こうざき自然遊歩道や、菜の花の黄色い絨毯が広がる田んぼ道、創業祭で賑わう道の駅、なんじゃもんじゃの木が佇む神崎神社など、町内の約11kmのコースを散策。期間中はたくさんの参加者が神崎町を訪れ、春のハイキングを満喫しました。

道の駅を背景に、
なのはな畑を散策



～絶景・忍野八海を歩く～ 神崎町歩け歩け会

5月13日、忍野八海（山梨県忍野村）で神崎町スポーツ推進委員連絡協議会、町教育委員会が共催する歩け歩け会を開催し、85名が参加しました。

忍野八海は、国指定の天然記念物や名水百選にも指定されている、富士山の雪解け水が湧水となって作られた湧水池です。参加者は、雄大な富士山を望む新緑の東海自然遊歩道を約7kmを歩き、忍野八海に到着。数十年の歳月をかけてろ過され、澄み切った水が湧き出る神秘的な泉は、参加者に感動を与えました。



清々しい空気を浴びながら
遊歩道をハイキング

春の汗ばむ陽気の中、田植え体験

古原地先の椿一二さんの水田で、都内の幼稚園児童から始まり、米沢小学校5年生、都内の中学生が田植えに挑戦しました。

児童達は、田んぼに足が埋まっていく感覚などに大興奮。米沢小学校の児童は、全員が一列に並び、椿さんのご指導の下、手作業で苗を植えました。都内から参加した児童生徒にとって、田植えは貴重な農業体験。参加者は泥に苦戦しながらも気持ちのいい汗を流し、清々しい青空の下には笑顔が溢れました。



美味しいお米になりますように、
と丁寧に植えていきます。